

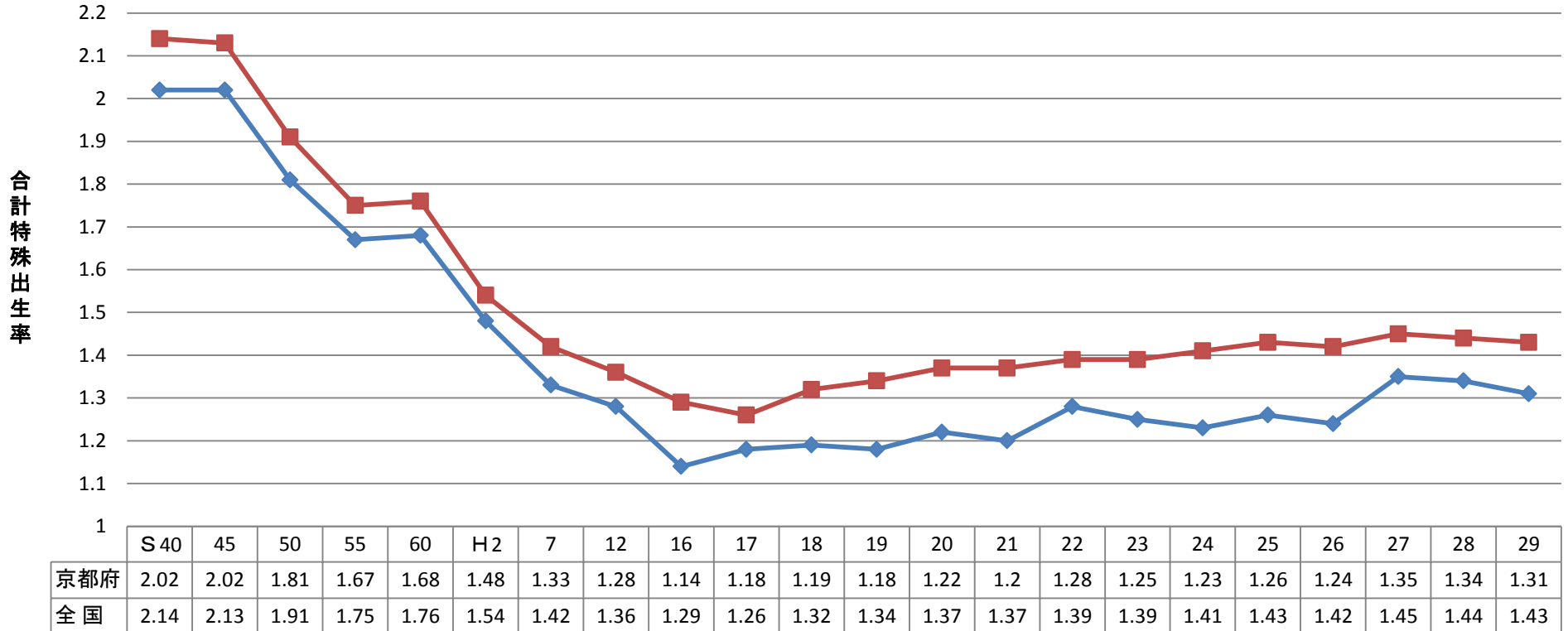
# 新総合計画策定懇話会 第4回生活部会 別冊資料

- 京都府の合計特殊出生率の推移 P 1
  
- 京都府の出生数の推移 P 2
  
- 若者・結婚 P 3
  - 生涯未婚率
  - 将来結婚したい者の割合
  - 平均初婚年齢
  - 結婚の条件
  
- 妊娠・出産 P 4
  - 第一子出産年齢の推移
  - 少産化の進行
  - 現在・理想の子ども数
  
- 子育て P 5
  - 子どもを産み育てる条件
  - 転出を希望する理由
  - 女性の年齢別労働力

# 京都府の合計特殊出生率の推移

- 京都府の平成29年は1.31と平成28年と比べて0.03下降。全国44位
- 京都府の合計特殊出生率が低い要因は、未婚化・晩婚化が進行していることが一因と考えられる。

\* 合計特殊出生率：15～49歳の女性の出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当

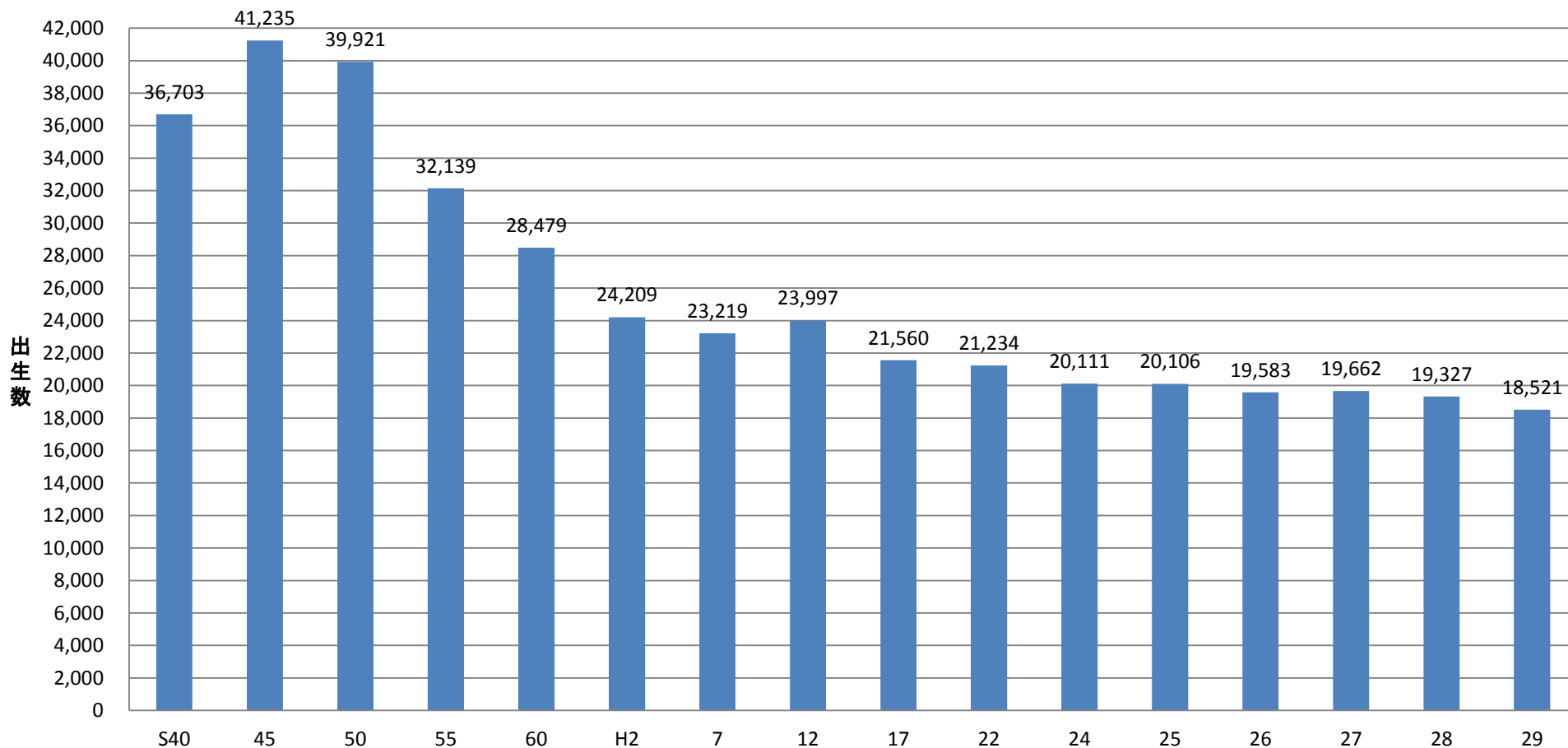


—◆— 京都府 —■— 全国

出典：厚生労働省「人口動態調査」

# 京都府の出生数の推移

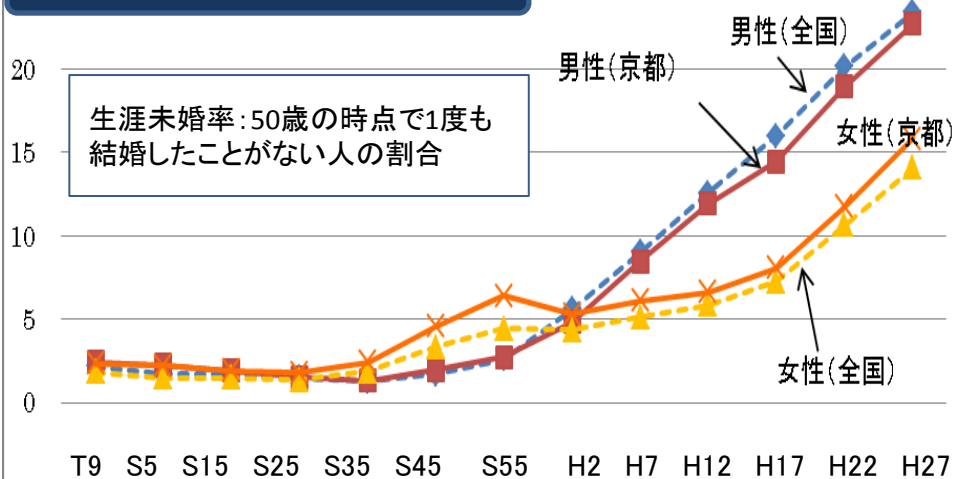
- 昭和45年当時(今から約50年前)は4万人を超過
- 平成26年に初めて2万人を下回り、平成29年は初めて1.9万人を下回った状況
- 平成28年と比較し、平成29年は806人も減少しているが、京都市において大きく減少。20代半ばから30代の子育て世代の流出も一因と考えられる。



出典:厚生労働省「人口動態調査」

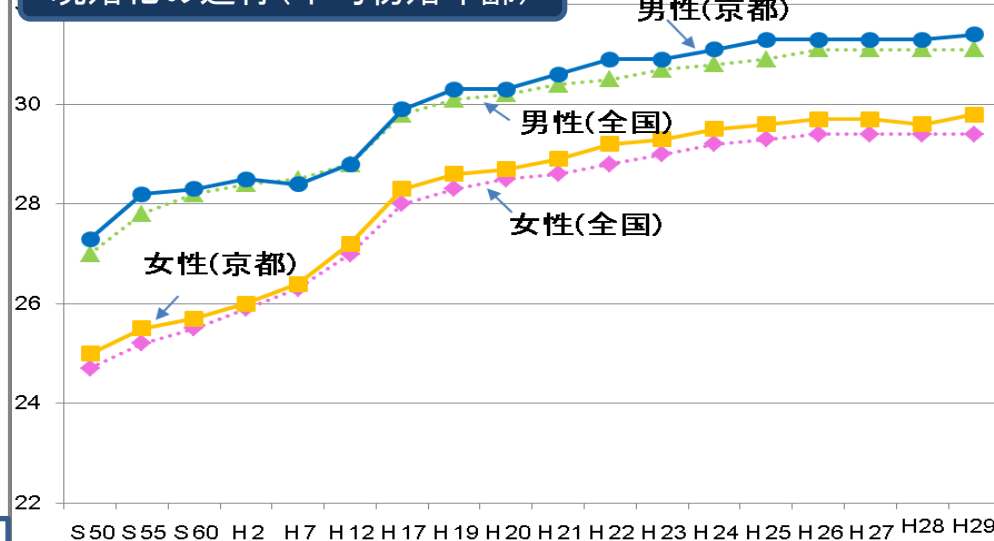
# 若者・結婚

## 未婚化の進行(生涯未婚率)



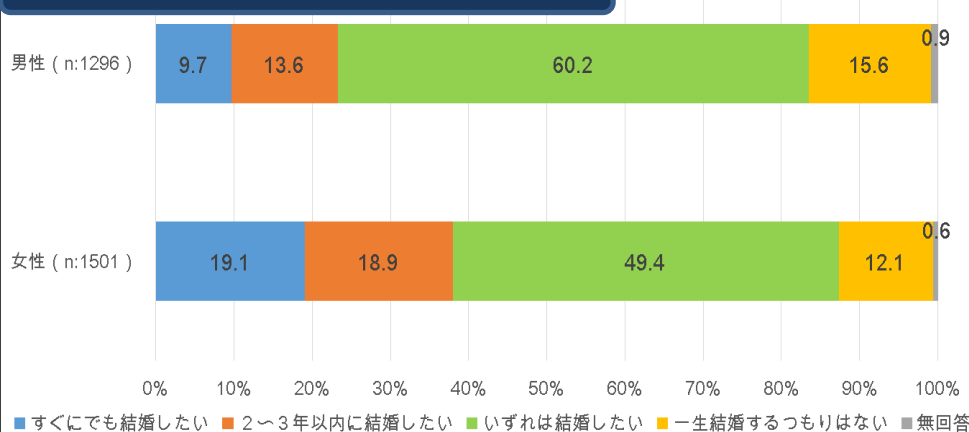
京都府少子化要因実態調査

## 晩婚化の進行(平均初婚年齢)



京都府少子化要因実態調査

## 将来結婚したい者の割合(京都府)



京都府少子化要因実態調査

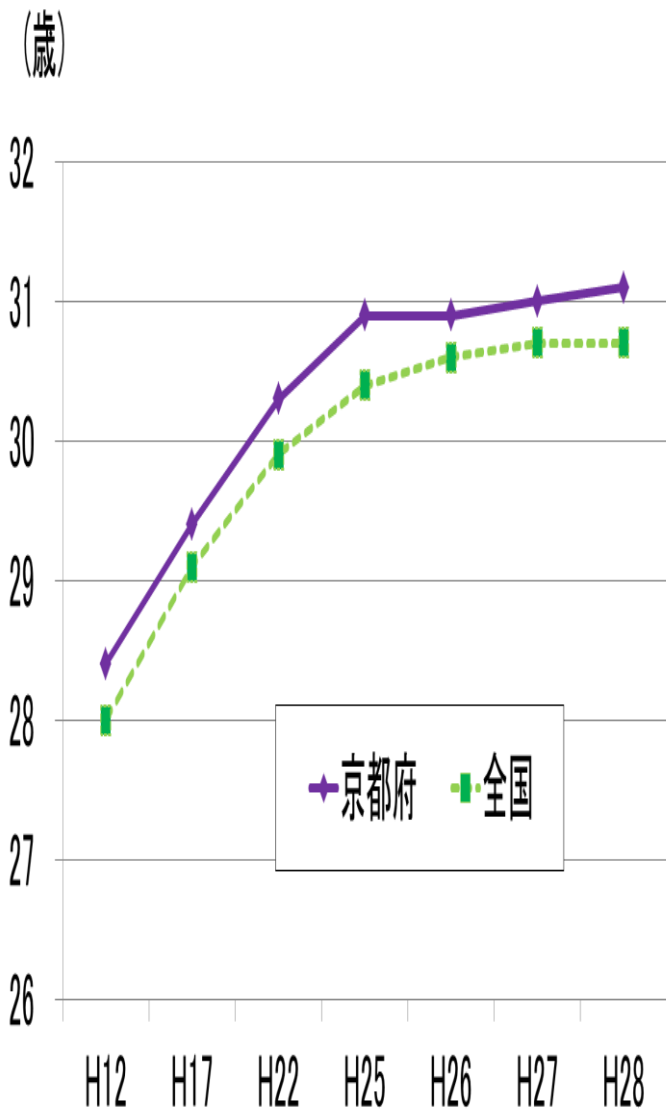
## 結婚の条件(京都府)

	全体	男性	女性
①経済的に余裕ができる	49.8	59.8	42.7
②精神的に余裕ができる	39.9	40.7	39.8
③自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う	39.8	34.5	43.6
④交際相手と知り合う(出会う)機会がある	37.2	34.9	39.2
⑤結婚の必要性を感じる	35.8	35.6	36.1

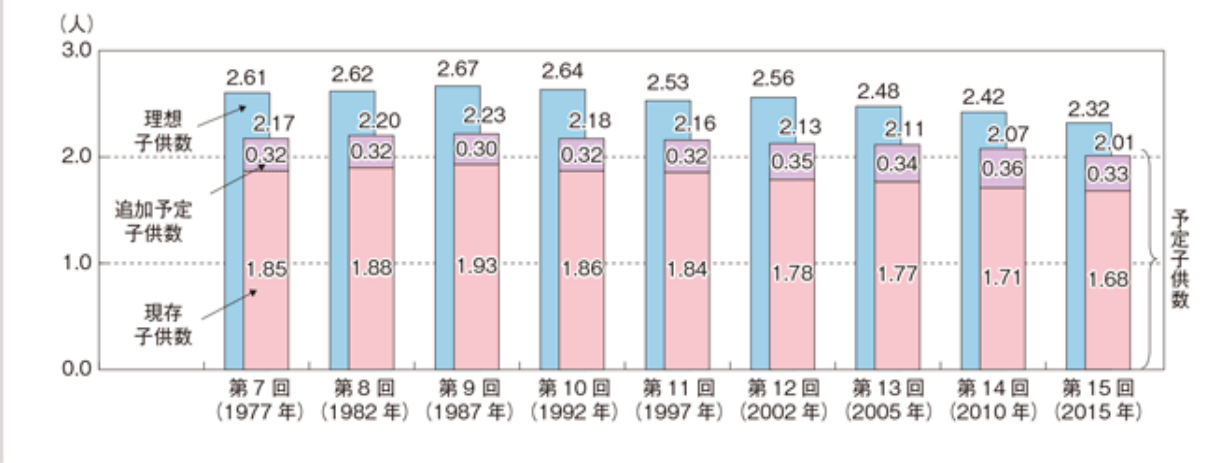
京都府少子化要因実態調査

# 妊娠・出産

## 晩産化の進行(第一子出産年齢)



## 少産化の進行



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」(2015年)

注：対象は妻の年齢50歳未満の初婚どうしの夫婦。予定子供数は現存子供数と追加予定子供数の和として算出。総数には結婚持続期間不詳を含む。各調査の年は調査を実施した年である。

## 理想とする子どもの数(京都府)

	男性	女性
予定（現在の生活から考えている）子ども数	2.0人	2.1人
理想（条件が許せば持ちたいと考えている）子ども数	2.4人	2.5人

# 子育て

## 子どもを産み育てる条件(京都府)

### 京都府少子化要因実態調査

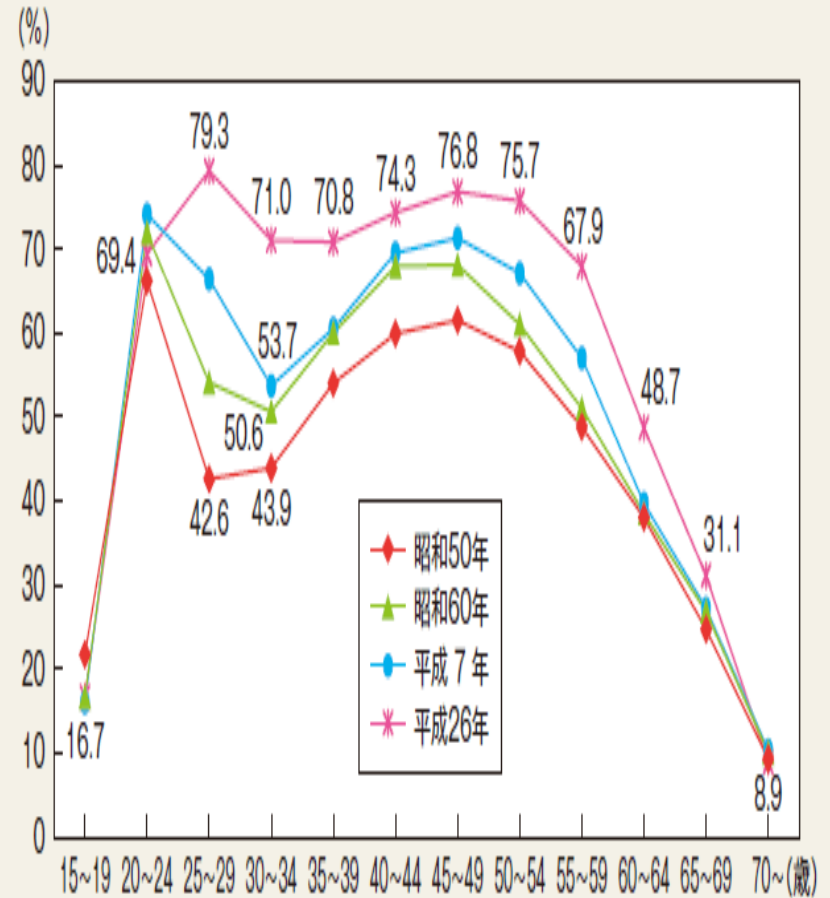
	1位	2位	3位	4位	5位
結婚している男性 (予定が理想を下回る者)	教育にお金がかからないこと (55.9)	雇用が安定すること (41.3)	保育にあまりお金がかからないこと (41.0)	健康上の問題がないこと (40.4)	保育サービスが整うこと (31.8)
結婚している女性 (予定が理想を下回る者)	教育にお金がかからないこと (59.0)	保育にあまりお金がかからないこと (41.8)	健康上の問題がないこと (39.6)	配偶者の家事・育児の協力が得られること (38.4)	保育サービスが整うこと (37.3)

## 転出を希望する理由(京都府)

### 京都府少子化要因実態調査

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		住宅事情 (28.6%)	通勤通学の便 (21.0%)	結婚 (16.6%)	豊かな自然環境 (16.2%)	子どもの学習環境 (12.9%)
男性	子どもはいない	未婚 就職 (29.4%)	通勤通学の便 (29.2%)	住宅事情 (22.3%)	結婚 (19.8%)	転職 (16.3%)
		既婚 住宅事情 (37.0%)	豊かな自然環境 (18.3%)	通勤通学の便 (17.5%)	転職 (16.3%)	親と同居するため (14.3%)
	子ども1人	住宅事情 (37.6%)	子どもの学習環境 (21.3%)	豊かな自然環境 (20.3%)	通勤通学の便 (20.0%)	転職 (16.3%)
	2人	住宅事情 (41.7%)	子どもの学習環境 (24.0%)	豊かな自然環境 (23.1%)	親と同居するため (15.0%)	通勤通学の便 (21.0%)
	3人以上	住宅事情 (52.4%)	子どもの学習環境 (26.5%)	豊かな自然環境 (23.4%)	通勤通学の便 (20.2%)	近所との人間関係 (14.8%)
女性	子どもはいない	未婚 結婚 (42.7%)	通勤通学の便 (26.5%)	住宅事情 (19.0%)	就職 (17.4%)	転職 (16.5%)
		既婚 住宅事情 (40.6%)	通勤通学の便 (17.5%)	豊かな自然環境 (14.4%)	家族の移動 (12.9%)	親と同居するため (12.0%)
	子ども1人	住宅事情 (33.7%)	子どもの学習環境 (26.3%)	豊かな自然環境 (20.8%)	通勤通学の便 (15.7%)	家族の移動 (14.4%)
	2人	住宅事情 (27.7%)	子どもの学習環境 (23.2%)	豊かな自然環境 (19.8%)	通勤通学の便 (17.1%)	近所との人間関係 (11.6%)
	3人以上	住宅事情 (28.8%)	豊かな自然環境 (17.9%)	子どもの学習環境 (17.6%)	親と同居するため (15.0%)	家族の移動 (12.6%)

## 女性の年齢別労働力



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。

2. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。